



千葉明德短期大学 MAGAZINE 『月歩学歩』 2017年4月号

新しい顔の

最新号をどうぞ

写真と言葉で

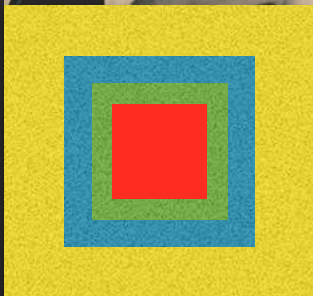
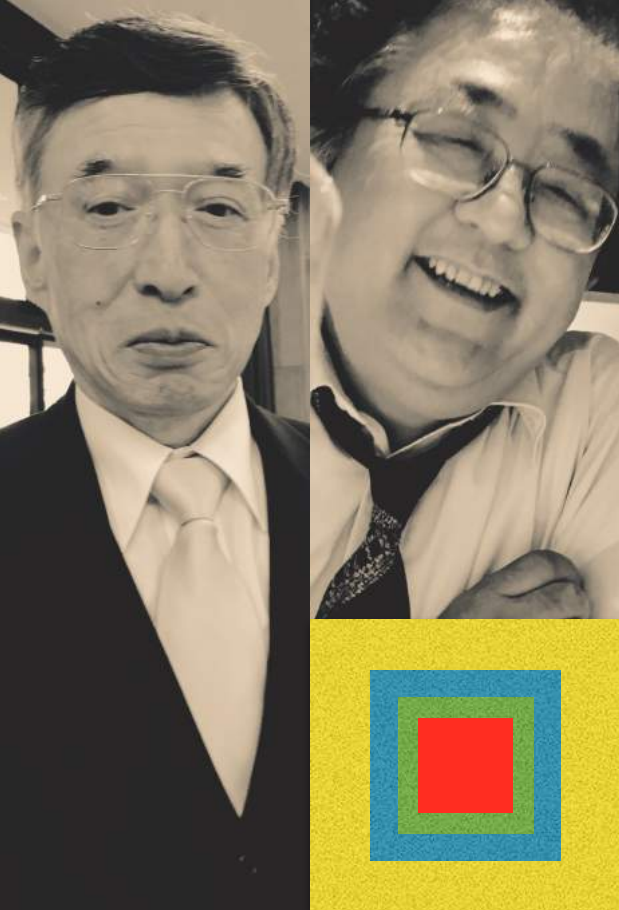
学生達の日々を伝え

明德らしさも

模索したり作り出したり

自分らしい道も

歩きながら切り開いて行こう



4月号の内容

- ❖ 入学式
 - 祝辞 福中儀明 理事長 3
 - 式辞 金子重紀 学長 4-5
 - 歓迎の言葉 三橋有美 6-7
 - 新入生ご挨拶 秋葉麗奈 8-9
- ❖ 保護者説明会 石井章仁 10
- ❖ 新任と新編集者のご挨拶 12
- ❖ いよいよ始まった学生生活 色々と
 - ❖ 「保育内容」初顔合わせ
 - ❖ 「あそび基礎」の授業から
- 表紙
「あそび基礎演習」 色色あそび
(一年生の大崎愛香さん)
- 編集
深谷ベルタ、久保瑤子



祝辞 福中 儀明 理事長

98名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。またご家族の皆様方、おめでとうございます。本学は1970年に創立されました。皆さんは第48回の入学生になります。新しい出発という、このよき日、まず最初に本校の名前「明德」の由来について説明させていただきます。

今から約2000年昔に書かれた中国の古典「大学」の中に「明德」という言葉が出てきます。「大学」といっても高校に続く大学のことではありません。「小学」に対する「大学」の意味です。「小学」といっても小学校のことではなく、「小さな学問」いわゆる、よみ・かき・そろばん、といった個人が生きていくために必要な身の回りの基礎的な学問—これが小学です。

一方、大学は小学よりもっとレベルの高い大きな学問—自分が生きるためではなく、世のため、人のためになる学問を意味します。

「大学」を究めるためにはどうしたらよいのか？この本の中には次のように書いてあります。

「大学の道は明德を明らかにするにあり」。「明德」とは人が天から得たすぐれた能力、人間として生まれながらに持っている人間性であり、明德を明らかにする、とはそれを輝かせる、ということです。さらに続く一節には、「明德を

明らかにせんと欲する者は先ずその知を致す。」とあります。明德を明らかにするためには、まず知恵と知識を身につけ知性を究める。そうすれば善悪の判断ができるようになり、心が正しく豊かになる—ということです。

本学は小さな組織ですが中身は豊富に詰まっています。同じキャンパス内には附属幼稚園があり、子供臨床研究所があります。学校附属としては千葉県内最初の明德本八幡駅保育園があり、さらに2番目の駅型保育園である明德浜野駅保育園もあります。姉妹法人である社会福祉法人千葉明德会の明德土気保育園もあります。4年前には千葉明德会の二番目の保育園として習志野市内に明德そでの保育園も開園しました。そして2年前には子供子育て支援新制度が発足し、それに合わせて県内八街市に明德やちまたこども園も開園しました。ですから皆さんはきょうから本学の学生になっただけではありません。入学と同時に幼稚園や保育園やこども園の研修スタッフになったと考えていただいたほうがよいでしょう。明德という総合・保育・創造・組織の一員に加わったのです。

皆さんのこれからの学びと活躍に期待し、理事長の祝辞と致します。



式辞 金子重紀 学長

新入生のみなさん入学おめでとう。また、保護者のみなさま方、おめでとうございます。

みなさんは、1月に高校を卒業したばかりの人、社会人を経験した人、それぞれの歩みをしてきたと思います。ただ、みなさんに共通しているのは、みなさんは、千葉明德短期大学を選んで今日の入学式を迎えたということです。校歌の中に「わが選び、われら学び」とあります。解説するまでもなく「自ら選んで自ら学ぶ」ということです。みなさんには、自ら選んだとの自覚が求められるとともに、私たち教職員には、選ばれたことに対して応える責任があります。

さて、みなさんが本学を選ぶにあたって本学は、アドミッションポリシー、つまり、こんな人に入学した欲しいというものを提示しました。面接のときに、訊かれた人も多かったと思います。

改めて言いますと、

1. 「人が好き」と素直に思える人
 2. 自分の気づきを大切にし、そこから学び始められる人
 3. 自分と違う見方や考え方を面白いと思える人
- です。

このアドミッションポリシーに、「私は100%当てはまる」と言える人はいるでしょうか。とても難しいことです。入学してほしい人であるとともに、目標にしてほしいことでもあるのです。

1の「人が好き」と素直に思えるということ。人は、生きていくと時として、辛いことや悲しいことに会います。人から辛く充てられることもあります。ある人を嫌いになったり憎んだりすることもあります。そういうことがあってもなお「人が好き」と思えること、そのためには、人っていいなと思える体験を積み重ねてほしいのです。短大での友人や教職員、実習先での子どもたちや先生、たくさんの交流の中で、きっとそういう体験ができると思います。本学が「体験から学ぶ」ことを大切にしているのは、学んだ結果、「人が好き」と素直に思えるようになってほしいとの趣旨を含んでいるといえると思います。

2の自分の気づきを大切にし、そこから学び始められる人。本学のホームページの「在学生インタビュー」の中で、この春本学を卒業した君塚さんは、こういうことを話しています。『子どもがけんかしているときの対応は、子どもの年齢にあった対応をしなければならぬ。』

子どもの発達が入っていないと対応できないということを実感した。』君塚さんは、実習などの体験の中から、自ら気づき、子どもの発達を学ぼうとしているのです。みなさんの中で、数学が嫌いだった人、歴史が嫌いだった人、手を挙げてみてください。これまでの学びは、どうしても受け身の姿勢が強かったと思います。しかし、これからの学びは、体験と授業などでの学びを結び付けてみてください。きっと、自らの気づきと学びが結びつき、これからのみなさんの役に立つ学びになると思います。

3の自分と違う見方や考え方を面白いと思える人。

千葉明德短期大学は、保育創造学科の単科大学です。なぜ、創造なのでしょう。ホームページには

子どもの育ちは誰一人同じではありません。こどもの理解とそのかわりに、一つの答えはありません。保育は創造的な営みですと書かれています。

この中の多くの方が、卒業するとき保育者としてあるいは幼稚園教諭として現場に出ることになります。その時に、答えは一つではないといっています。むしろ答えはたくさんあるかもしれません。でも、答えがないことではないのです。それが創造することです。そのためには、いろいろな

人の見方や意見を聞き、いろいろな見方や意見を吸収していく必要があります。また、保育はチームワークで行われます。いろいろな見方や意見を出し合ってより良い保育を目指していくチームが大切です。

とても一回では語れないようなお話になってしまいました。ただ、私たちには、みなさんに伝えたいたくさん思いがあります。私たち千葉明德短期大学の教職員一人一人がその思いを持っています。そして、その思いを伝えるためには、皆さんの思いを受け止めて初めてできることです。そうでなければ、私たちの一方的な思いになってしまうからです。ですから、みなさんも私たち教職員に対して、みなさんの感じたこと、考えたこと、悩んでいること、みなさんの中にある思いをたくさん伝えてください。必ず、誰かが受け止めてくれるはずですよ。

私たちの思い、みなさんの思いを伝えあいながら、2年間の学生生活を充実したものにしていきましょう。そして、みなさんが卒業するとき、千葉明德短期大学を選択したことが間違っていなかったといえることを願っています。

以上をもって、式辞とさせていただきます。





歓迎の言葉 三橋有美 2年生代表

新入生みなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんはどのような気持ちでこの日を迎えられるのでしょうか。自分の夢に向かう希望、新しい生活に期待や不安を抱えていると思います。

保育園の先生になることは、私の小学生の頃からの夢でした。千葉明德短期大学を選んだのは、実習がたくさんあることに魅力を感じたからであり、実際に子どもと関わり、より多くのことを学べると期待しました。しかし、不安なこともありました。高校3年生の夏、担任の先生と面接練習をしている時に「元気がない」と言われたことがあり、こんな私が保育の道に進んで良いのか気になっていました。

私にとって印象深いのはやはり実習です。1年間実習をして、人と関わることの難しさや楽しさを感じました。難しいと感じたのは、その時の相手の気持ちを考えながら援助することです。

10月の幼稚園実習でのことです。園庭の制作スペースで制作する様子を見守っていると、一人のわざわざ家から牛乳パックを持ってきて宇宙船を作っている男の子がいました。こんなにたくさんの牛乳パックを使って作るなんて一体どんなものができるのだろうと思い、男の子に「〇〇君の作る宇宙船楽しみにしているね」と声をかけ、他の子を見ていました。しばらくすると男の子は、突然「先生作っておいて」と私に言って、どこかへ行ってしまいました。私は、男の子の作る宇宙船が見たかったので作らないでいました。時間がたって男の子が

戻ってきて「先生、作ってないじゃん」と怒りました。私はすぐに「作り方がわからないから一緒に作ろう」と声をかけましたが、無視されてしまいました。とうとう男の子は私に「持って帰って、作って、明日持ってきて」と要求しました。結局男の子は宇宙船を作らず、使っていた牛乳パックは私が片づけました。私はこの時男の子が何をしたいのかわかりませんでした。その日のレポートでは、「男の子は作りたいけれど作るのが面倒になったことと、作っておいてと言われた時はっきり断らなかったため『作ってくれる』と思ったかもしれない」とだけ考察しました。

しかし、後で考えると、男の子は自分に注目してほしいかと思いました。私は、「楽しみにしているね」と期待の言葉をかけましたが、その後他の子を見ていました。期待の言葉をかけられて男の子のやる気は上がり、期待しながら戻ってみるとお姉さんは他の子のことを見ていたので「僕のことを見てくれないんだ」という気持ちになってしまったかもしれません。このように、後に考察すれば「ああだったかも」「こうだったかも」と気持ちを推測しようとする事ができますが、その場ではなかなか推測することができませんし、気持ちをいろいろ考えすぎて言葉かけができない時もあります。そこはこれからの課題であり、子どもだけでなく、人と関わる難しさだと分かりました。

一方、楽しいと感じるのは、相手が心を開いてくれた時です。保育園での実習の時、2歳児クラスに私が話しかけてもすぐ怒る女の子がいました。散歩

の時、「お花きれいだね」と女の子が言ったので「ほんとだきれいだね」と返すと、「お姉さんに言ってない!」と怒りました。他にもこのような場面がたくさんあり、私は女の子はよほど私のことが嫌いか、初対面の人が苦手なのだと思います。後に園庭で女の子に会った時がありました。すると女の子から近づいてきて「お姉さんあのね、私今穴掘ってるんだ」と言いました。あんなに私を嫌がっていた女の子が私を受け入れ、自分から声をかけてくれたことが何より嬉しく、相手が心を開いてくれた時に喜びを感じ、人と関わるのが楽しいと感じることに気づきました。

実習を通して、私自身の考え方にも変化がありました。私は自分に活発さが無いことを気にしていましたが、保育園実習の反省会の時、保育者から「今まで実習生に指一本触れなかった子が一緒に遊んでいるのを見て、それはきっと穏やかに関わっていたのがその子にとって近寄りやすかったのでは」というお話を伺いました。それからは私の関わり方もこれはこれで良いのではないかと思うようになりました。

今までは人前に立つのが大の苦手で発表などはなるべくやりたくないと思ってしまっていたのですが、実習を通してもっと人前に堂々と立てるようになりたいと思いました。2年次は、あまり慎重になりすぎず、たくさん自分から行動し、いろいろなことを経験したいと思います。また、人前に立つことに慣れたいです。

新入生のみなさんも、学生生活を過ごしていく中で様々な出来事があると思います。時には、「こんな自分はもう嫌だ」と思う時もあるかもしれませんが、みなさんの周りには親身になって指導を下される先生、一緒に夢に向かっている仲間、そして私たち2年生がいます。ぜひ周りの人たちに質問や相談をしてみてください。自分の良さに気づく何か良いヒントが見つかると思います。共により良い学生生活を過ごしていきましょう。



新入生 ご挨拶

新入生代表

秋葉 麗奈



本日は、私たちのためにこのような式を開いて頂き、ありがとうございます。これから始まる新しい生活に不安と喜びでいっぱいですが、ここ千葉明德短期大学で、私たち新入生一人ひとりの色を出していきたいと思えます。

私は水色が好きです。水色のように明るく優しい色のある保育者になりたいと思えます。これから沢山の実習が私たちを待っており、実習先で最初から自分の思い描く保育者にはなれないと思えますが、回数や経験を重ね、自分の色を出せるようにしたいです。

千葉明德短期大学には、行事も沢山あり、5月に開かれるスポーツ大会や、障害者スポーツ大会ボランティア、学園祭やハロウィン、どれも今から楽しみです。色々な所で私たちの保育者になりたいという気持ちを大きくし

てくれる行事だと思います。また、私が学園祭に参加させて頂いた際、弟と一緒に遊んでくださった先輩方がとてもキラキラしていて、楽しそうでした。弟もとても楽しかったようで、遊び終わった後も「また行きたい!!」と何度も言っていました。私も先輩方の様に、自分も楽しんで、さらに子どもたちを喜ばせてあげたいと強く思いました。

2年生になるとわくわく体験研修があります。そこでは、カンボジアに行きたいと思っています。これは、オープンキャンパスに参加した際、パンフレットを見てそう思いました。初めて見た学校のパンフレットに載っていたカンボジアの子どもたちは、新聞紙で作った兜を被り、とても楽しそうに笑顔いっぱいでした。

それは私にとって魅力でしかありませんでした。私はカンボジアに行ったら、子どもたちに絵本を読んであげたいです。また、中学3年生から地元で、ボランティア活動として、保育園や幼稚園に入園する前の子どもたちと遊んでいるので、そこで学んだ事をカンボジアの子どもたちとの遊びに活かしたいと思っています。

そして、沢山の学びを大切にしたいです。私は憲法が苦手なので、力を入れて頑張っていきたいと思っています。他にも手遊びや、体を動かす遊び、子どもたちとの触れ合いを大切にしたいです。

このように、私たちは一人ひとり、考えも違えば、表現の仕方、言葉の伝え方、目標や頑張りたい事など様々で、色々な所で違ってくると思います。ですが、私たちの目指す保

育者というゴールは同じです。私たちはそれぞれ考え方や目標が違う仲間でも共に協力し、励まし合い、時にはライバルとなり、アドミッション・ポリシーにあるように、「人がすき」と素直に思える人、自分の気づきを大切にし、そこから学び始められる人、自分と違う見方や考え方を面白いと思える人を胸に、千葉明德短期大学で成長していきます。

私たちの目指す保育者は、とてもキラキラとして見える立派なものだと思います。それぞれ思い描く保育者になれるよう、これから2年間という短い時間ですが、思う存分勉学に励み、実習で沢山学び、夢に向かっていきたいと思っています。先生方、先輩方、そんな私たちをどうかよろしくお願い致します。



保護者説明会

石井章仁

実習・就職担当



保護者の皆さまには、なかなか学校には来ていただくチャンスがないため、入学式後のわずかな時間を活用して、実習や就職に関するインフォメーションを行いました。その概要は以下のような点です。

1. 実習は、本学の教育課程（学業）の中心です。実習教育は、本学の学びの中心です。日頃の学業の成果や日常生活の全てが出るというよいでしょう。1年間の学びの成果が発揮される場としても大切ですし、挨拶や掃除・洗濯・調理など、日常生活の全てが、実習の評価につながるがあります。

また、日常の生活でも、朝きちんと起き、栄養や十分な休息をとるなどを徹底していただくとともに、アルバイトなどの時間は節度を持って行っていただくようお願いいたします。さらに、片付けや整理整頓、掃除などは自分自身で行うような習慣をつけるようにして頂きたいと思えます。

2. 実習は、学生にとって大変厳しい実践の場です。実習は、2週間、3週間という期間限定の取り組みであるとはいえ、学生にとっては大変勉強になると同時に厳しい場であることも事実です。実習中は、土日であってもアルバイトなどをする余

裕もありませんし、体調管理も重要な要素となります。実習前後や実習中は、最大限のご配慮下さい。

3. 授業に絡み、現場体験やフィールドに出る体験が多くあります。

授業などで、保育や福祉などの現場や都市や文化、自然などを学ぶためのフィールドに出る機会が多くあります。しかし、近年、交通費などを出すことができないという学生がいます。学校側も配慮をいたしますが、現場での学びは非常に刺激になるものですので、交通費などへのご配慮をお願いいたします。

4. 就職の時期は一般よりも遅い

保育や福祉の現場の就職活動は、通常一般企業よりも遅くなっています。2年次の秋くらいから始まりますので、あまり早い段階から「決める」ことをあせらずに、ゆっくり時間をかけて、学生自身に合った就職先を目指すように指導しておりますので、

よろしくをお願いいたします。

「保育内容」で 初顔合わせ



写真 大村あかね





新任教員と新 編集者からの ご挨拶

久保瑤子

深谷ベルタ

みなさん、初めまして！この4月から千葉
明德短期大学の専任教員になりました、久
保瑤子と申します（*^ ^*）♡初めての就職
先がこの短大になります♪早いもので明德
の先生になって1か月が経ちました。振り返っ
てみると、ドキドキの1か月でしたが、元気
いっぱいの学生のみなさんや温かい先生方
のおかげで、毎日とても楽しい生活を送っ
ています。

さて、本日はこの場をお借りして、私の自
己紹介をさせていただきたいと思います。一
つは、私のこれまでの人生について、もう一
つは私の趣味についてです。

私はもともと、幼い頃から幼稚園の先生
になるのが夢でした。理由は、通っていた幼
稚園の担任の先生が大好きだったためです。
小学生の頃から、その夢はほとんどブレず
に、大学も幼稚園教員養成コースに進学し、
幼稚園教諭と保育士、小学校教諭の免許を
取得しました。しかし、大学3、4年生の時

の教育実習で子どもたちと関わったことを
きっかけに、「乳幼児はどのような世界に生
きているのだろう？どのようなことを考え
ているのだろう？」と乳幼児の心理に興味を持
つようになりました。そこで、大学卒業後、
5年間千葉市の保育所で延長保育士をしな
がら、大学院に進学して「乳幼児の心理」につ
いて研究をしました。

今でももちろん子どもが大好きで、「自分
のクラスを持ってみたいなあ…♡」なんて夢
見ることもあります。しかし、今はこれまで
の経験を生かして、将来保育者を目指す学生
のみなさんと一緒に、この先もずっと子ども
たちが笑顔で過ごせるような保育環境を創っ
ていくためにはどんなことが大切なのかを
じっくり考えていきたいと思っています。

そしてもう1つ、私の趣味は音楽です。3
歳からピアノを始め、小学校高学年～大学生
までずっと吹奏楽部と軽音サークルに所属し
ていました。



楽器もホルン、フルート、パーカッション（主にドラム）と幅広くやっていました。この千葉明德短期大学には、音楽が大好きな先生方や学生さんによる『めいとくはうたう』というイベントがあります。今からひそかに、参加できることを楽しみにしています(^_^♪

長くなりましたが、学生のみなさんとは同じ夢を志していた者として、共感できることがたくさんあると思います！これから、授業やイベント等を通して、みなさんと色々なお話ができるのをとても楽しみにしています♡ 何卒よろしくお願い致します(^o^)

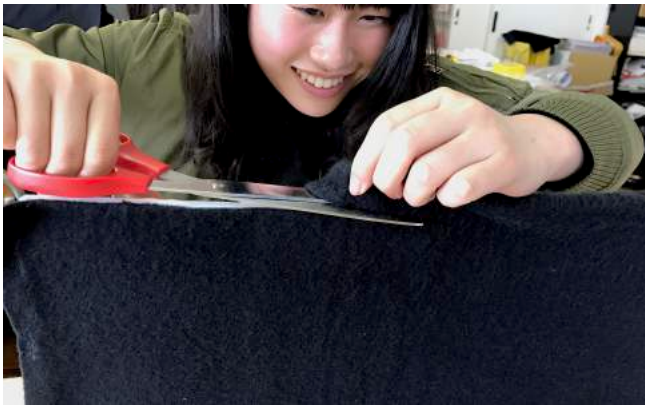
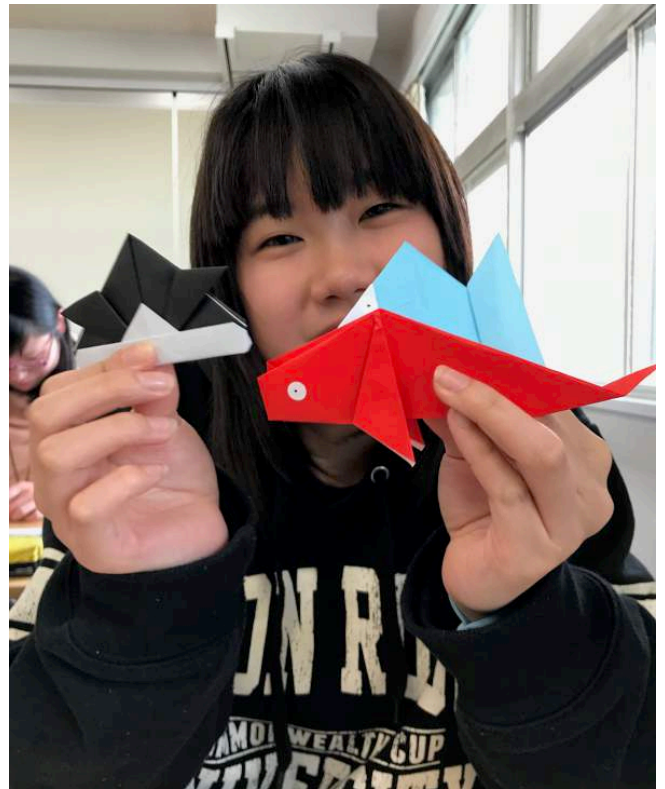
深谷

はそれなりに古いカブです。

明德歴10年目で、新任から『月歩学歩』の編集を数年手がけておりましたが、本年度より復活です。保育者になりたいと思ったことが一度もありませんでした。なのに!;:)

大学時代の専攻は久保さんと同じく心理学で、本業はサイコロジスト。日本の保育施設での保育者歴は半年足らずで20年。自然と人間と音楽とヴィジュアルアート等が大好きです。最近の趣味は写真と散歩と新しい外国語を習うこと。



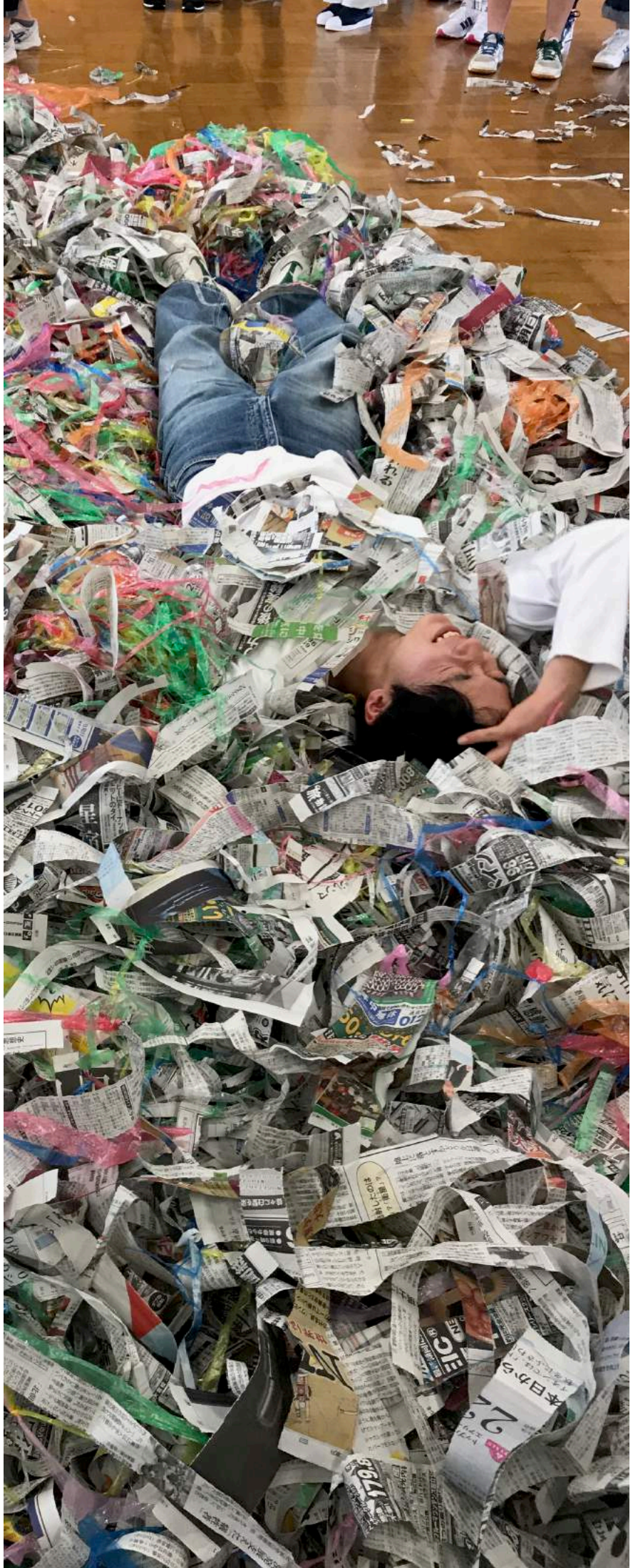




編集者後記

Kちゃんは「たいむ」の広場によく遊びに来てくれる1才8ヶ月の女の子です。先日新しいお靴を買ってもらいました。お気に入りの新しい靴。部屋の中で遊んではその嬉しさを表現できず、どうしても外に出たくなりました。小さい彼女にとって初めての遠出だったと言う。歩くこと自体が嬉しく、1時間半以上も外でとことこ、とことこ。その様子を見守っていたお母さんも、やっと友達になれたHさんもびっくりです。彼女の嬉しい姿を写真に撮ろうとして突然近づいて来た見知らぬ大人に泣き出してしまいました(…;))

学生の皆さんは始めて自分の足で「遠出」した記憶が既に残っていないでしょうけれど、おそらくKちゃんのような気持ちだったのではないのでしょうか。足が大きくなるにつれて新しいお靴に履き替え、新しい道を発見し、自分の道を切り開いて…おっかなびっくりとわくわくする嬉しさが入り交じる人生の道…しばらくの間ご一緒に！





学事日程

5月

12日 (金)

❖ 教育実習II 事前訪問
(2年生)

13日 (土)

❖ 保育実践研修会 (卒業生)

19日 (金)

❖ 第66回スタバお話ライブ
❖ 保育体験 (1年生)

26日 (金)

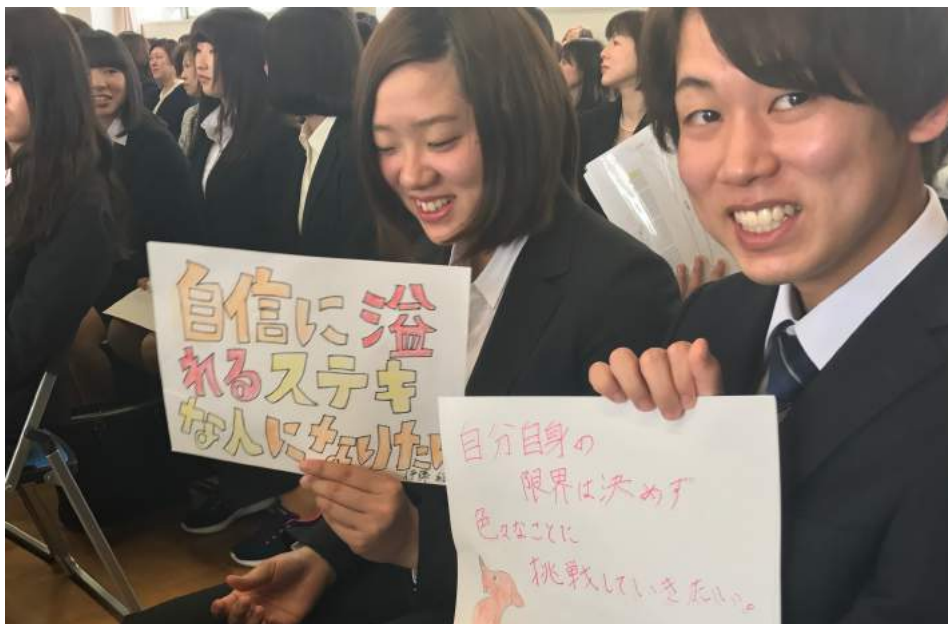
❖ 第2回まんぷくCAFE

27日 (土)

❖ オープンキャンパス

28日 (日)

❖ 障害者スポーツ大会ヴォランティア (1年生)



Luptatum

Amet zzril consetetur ea mea? Similique sadipscing comprehensam cum ea, pisci sententiae vix id! Vel occurreret.



Luptatum

Amet zzril consetetur ea mea? Similique sadipscing comprehensam cum ea, pisci sententiae vix id! Vel occurreret.

Luptatum

Amet zzril consetetur ea mea? Similique sadipscing comprehensam cum ea, pisci sententiae vix id! Vel occurreret.





Another Header Style

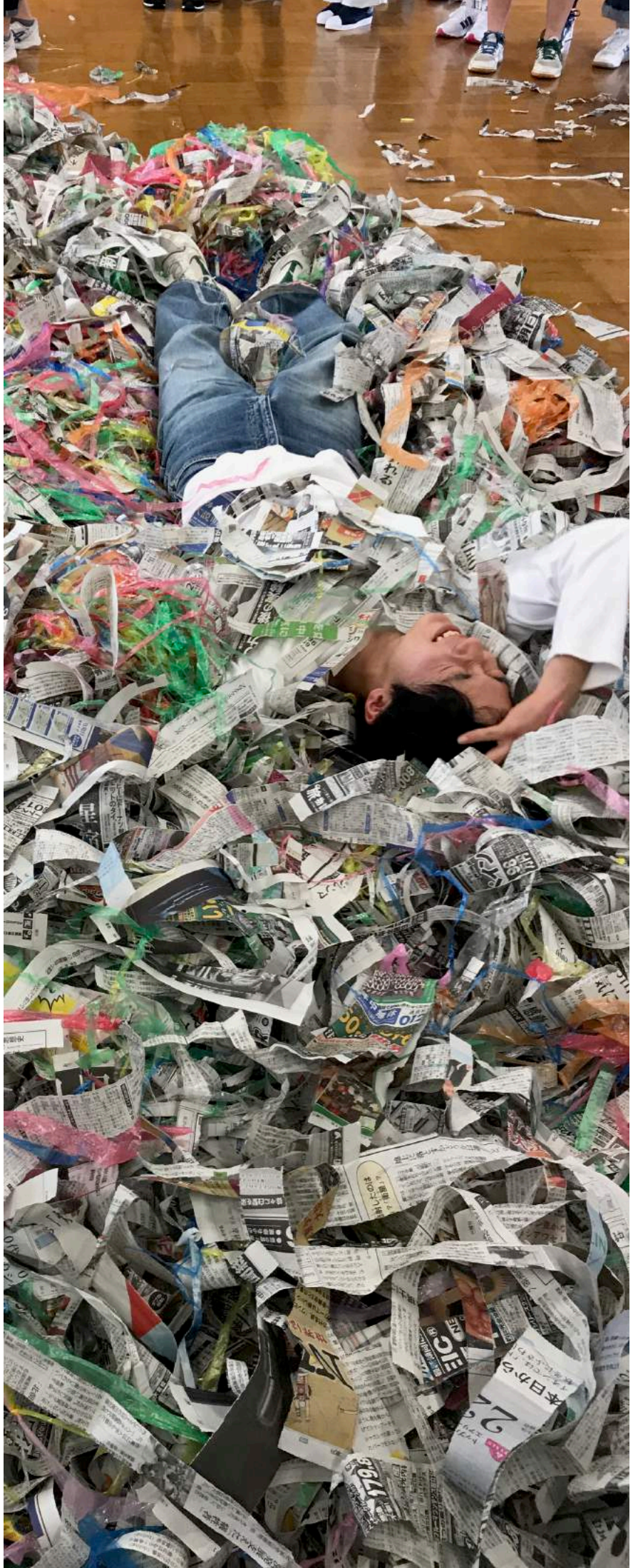
Lorem ipsum eu nec everti indocum, at mei meis denique legendos. Ut nec sint utinam, ea pri tation mollis similique? Per et option sapientem, ad meliore eleifend sea, eius consequat percipitur cu pro? CTe est sale utamur, vel menandri occurreret te. Qui eros vivendum ne. Ad vidit blandit mentitum ius. An populo qualisque ullamcorper est, cu pri vidisse aliquam consequuntur! Velit debitis vivendum est in, pri ut dicit feugait, ne etiam tincidunt eos. Sumo voluptatum vis in.

Lorem ipsum eum justo nominati at, eam te fastidii conceptam?

Modus atqui ad eum, mea erroribus dignissim interesset ne? Ex dicit dolore postulant vel. Alia zzril facete eam in, no qui tation ullamcorper, mel no veri iuaret consequat. Partem utamur.

In alterum accusam mel, ad omnium inimicus usu. Porro ipsum ignota ei mea, mutat facilis usu te?

Sed an legendos prodesset referrentur, eam in vero veri simul, no his labores tincidunt neglegentur. His ei alia ipsum errem? Kasd simul his ad, nec eu viderer complectitur. Sed possim mollis offendit ne, nonumy putent pro an!



Text only article in two columns per page

Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Odio eugiat moderatius mel cu, sed porro mandamus at. Ei nec de-bet omnes dissentiunt, cu omittam consetetur quo. Eam ea timeam contentiones? Persius equidem torquatos ex mel, eu commune necessitatibus mea. Tota nostro facilisi an quo, his soleat latine scriptorem id, eu vix laboramus ullamcorper. Inani minim senserit at eam, ut usu sonet scaevola sapientem, vix an aperiri dolorum.

Nibh quas lucilius pro cu, cu vis putent doctus intellegat, id nec denique inciderint instructor. Ex etiam munere vix, ut utamur molestie pro?

tincidunt sed. Omnesque indoctum sapientem mea ex! Pri ea enim illum veniam, per no labitur ornatus. Eum et fugit paulo reformidans, et mollis sanctus appellantur qui. Vis laoreet dissentias interesset ex. Facete rationibus quo id. Idque saperet forensibus nec an! Sea sint feugiat cu, latine eligendi probatus sed eu! Eu vel suas iisque!

Pri copiosae salutatus liberavisse ut, ei legere tamquam eos, mei ex consulatu forensibus. Qui velit prompta eripuit no, cum id omnis impedit, est et zzril inciderint. Alii eros sonet usu cu, id

vix ullum volumus. Ea tota porro tamquam duo, eum cu omnes meliore. Ea primis omnium delicatissimi vix, id ius altera instructor. Has velit causae ne, ex qualisque corrumpit pro, esse soluta expetendis ne sed. At antiopam conceptam definitionem sit, gloriatur dissentiet et eu facete labores, erat suscipit consetetur vis at, assum impetus recusabo per ad. Causae no-luisse invenire ex per, saepe sensibus salutatus cu ius? Volup-tua voluptat voluptaria pro ei, fugit fabulas quo cu. Nec integre sadipscing cu! His ea wisi vocent aperiri, has omnes legimus volumus eu. Ubique everti eloquentiam mea ea!

Veri delectus te vim? Harum vocent laoreet no nec? Insolens aliquando argumentum quo et, at autem mandamus urbanitas est? Cum at docendi legendos. Dicunt tritani constituto ius in, tale partiendo philosophia usu ut! Cibo habeo an pri, ea sea prima laboramus evertitur. Eum discere moderatius ad.

Odio eugiat moderatius mel cu, sed porro mandamus at. Ei nec de-bet omnes dissentiunt, cu omittam consetetur quo. Eam ea timeam contentiones? Persius equidem torquatos ex mel, eu commune necessitatibus mea. Tota nostro facilisi an quo, his soleat latine scriptorem id, eu vix laboramus ullamcorper.

Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonumy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum.

Suscipit, eius indoctum salutandi te vix. Tation iriure ullamcor-per mel eu, nec zzril gubergren maiestatis an? No pri dicunt nostrud, elitr fuisset definiebas mel no, adhuc nulla ridens et pro. Vel tamquam volutpat ad, in tamquam minimum pri. Vel sale volumus in. In pri solum deseruisse. Petentium gubergren ex eos. Mea saperet nominati partiendo cu, tistique molestie vituperatoribus et qui, eros justo legere duo te. Pro ut quidam sensibus instructor. Augue antiopam dissentias pro ut.

Nibh quas lucilius pro cu, cu vis putent doctus intellegat, id nec denique inciderint instructor. Ex etiam munere vix, ut utamur molestie pro?

tincidunt sed. Omnesque indoctum sapientem mea ex! Pri ea enim illum veniam, per no labitur ornatus. Eum et fugit paulo reformidans, et mollis sanctus appellantur qui. Vis laoreet dis-sentias interesset ex. Facete rationibus quo id. Idque saperet forensibus nec an! Sea sint feugiat cu, latine eligendi probatus sed eu! Eu vel suas iisque!

Pri copiosae salutatus liberavisse ut, ei legere tamquam eos, mei ex consulatu forensibus. Qui velit prompta eripuit no, cum id omnis impedit, est et zzril inciderint. Alii eros sonet usu cu, id vix ullum volumus. Ea tota porro tamquam duo, eum cu omnes meliore. Ea primis omnium delicatissimi vix, id ius altera instruc-tior. Has velit causae ne, ex qualisque corrumpit pro, esse solu-ta expetendis ne sed. At antiopam conceptam definitionem sit, gloriatur dissentiet et eu facete labores, erat suscipit consetetur vis at, assum impetus recusabo per ad. Causae no-luisse invenire ex per, saepe sensibus salutatus cu ius? Voluptua volutpat voluptaria pro ei, fugit fabulas quo cu. Nec integre sadipscing cu! His ea wisi vocent aperiri, has omnes legimus volumus eu. Ubique everti eloquentiam mea ea!

Veri delectus te vim? Harum vocent laoreet no nec? Insolens aliquando argumentum quo et, at autem mandamus urbanitas est? Cum at docendi legendos. Dicunt tritani constituto ius in, tale partiendo philosophia usu ut! Cibo habeo an pri, ea sea prima laboramus evertitur. Eum discere moderatius ad.

Odio eugiat moderatius mel cu, sed porro mandamus at. Ei nec de-bet omnes dissentiunt, cu omittam consetetur quo. Eam ea timeam contentiones? Persius equidem torquatos ex mel, eu commune necessitatibus mea. Tota nostro facilisi an quo, his soleat latine scriptorem id, eu vix laboramus ullamcorper.

Suscipit, eius indoctum salutandi te vix. Tation iriure ullamcor-per mel eu, nec zzril gubergren maiestatis an? No pri dicunt nostrud, elitr fuisset definiebas mel no, adhuc nulla ridens et pro. Vel tamquam volutpat ad, in tamquam minimum pri. Vel sale volumus in. In pri solum deseruisse. Petentium gubergren ex eos. Mea saperet nominati partiendo cu, tistique molestie vituperatoribus et qui, eros justo legere duo te. Pro ut quidam sensibus instructor. Augue antiopam dissentias pro ut.

Profile

Vix quas bonorum
neglegentur at

Omnesque inciderint nec at, minim commodo vim te, in paulo consecetur est. Aliquam moderatus an nec. Hinc impedit est ea. Vix quas bonorum neglegentur at, an veniam definitiones cum, est at copiosae forensibus. Docendi recteque et eum, assueverit inciderint ullamcorper id eos.



Falli eloquentiam sit et, alia probo intellegam per et.

At mea audire laoret philosophia, nam te assum virtute. Ut vim alia duis consti-tuam, no libris pericula eum, vix an elei-fend reprimique.

Nec ad velit splendide definitionem, te vis elit prima, ei nec re-bum assueverit. Ad dicit eligendi manda-mus has, cum quas sapientem an.

Vix an dico interesset, cum iisque eruditi prodesset ei. Melius offendit ex mel, usu cu modus essent vulputate, vis erant solet oblique ut. Ut congue aliquam vim.

Movet volumus dissentias mea eu, ex mel tation scribentur. Mel in nonummy percipit, luptatum atomorum petentium at sed. At nec animal veritus, vis cu es posidonium consequuntur, nec.

Ne mazim iisque vituperatoribus. Luptatum postulant convenire cu pro.

Eius efficiantur eu qui, decore noster intellegam vix cu, melius epicuri eos cu. Ad viris nusquam sensibus ius, his postea ponderum ei.

Omnium utamur quaestio ut eum, ex graece propriae vix.

Template for using a full-size photo



Article with two photos

Lorem ipsum ei habeo delicata nam. Eirmod utamur principes ut quo.

Mei audem epicuri et! Id eam virtute inviduniciis. Eam cu nominavi luptatum, amet zzril con-setetur ea mea? Similique sadipscing comprehensam cum ea, id his propriae offendit asueverit, ne cetero maiorum efficiantur usu. Mei adhuc adversarium ut, nusquam luptatum an ius his te. His ne eruditi repudiare, animal adipisci sententiae vix id! Vel occurreret liberavisse at. Ad est ullum expetenda. Doming omnesque ei eum, ius an ha-beo tollit principes, at vidisse.

Usu an nullam vocent? verit, ne cetero maiorum efficiantur usu. Movet place-rat convenire mei ne, denique postulant .

Conclusionemque nec eu, per? dem luptatum, amet zzril consetetur ea mea? epicuri et! Id eam virtute. Ut per nemo-re legimus conclusionemque. Est an primis malorum euismod, quodsi iisque rationibus pro ut. No sed scripta interes-set, eu error viris phaedrum est, ut usu agam nobis. At dicam rationibus sea, ea qui eius virtute. Ad est ullum expetenda. Doming omnesque ei eum, ius an ha-beo tollit principes, at vidisse.

Forensibus nam. Eos ex tantis facilis omittantur, ad insolens inimicus interes-set nam. Regione quaestio ex has, pro cu tempor ullamcorper, mucius semper ad duo. Noluisse abhorreant usu no, pri ad mundi nonumy delenit.

No vix fabulas splendide. Cu eos vidit mazim percipitur, eu nobis melius cum, ut maiorum argu-mentum ullamcorper mel. Eam dolorem deterruisset ea.

Article with Collage



Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed diam nonummy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua. At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum.

Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est Lorem ipsum dolor sit amet. Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonummy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua.

• At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est Lorem ipsum dolor sit amet.

• Lorem ipsum dolor sit amet, consetetur sadipscing elitr, sed diam nonummy eirmod tempor invidunt ut labore et dolore magna aliquyam erat, sed diam voluptua.

• At vero eos et accusam et justo duo dolores et ea rebum. Stet clita kasd gubergren, no sea takimata sanctus est Lorem ipsum dolor sit amet.

• Duis autem vel eum iriure dolor in hendrerit in vulputate velit esse molestie consequat, vel illum dolore eu feugiat nulla facilisis at vero eros et accumsan et iusto odio dignissim qui blandit praesent luptatum zzril delenit augue duis dolore te feugait nulla facilisi.

• Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed diam nonummy nibh euismod tincidunt ut laoreet dolore magna aliquam erat volutpat.

Ut wisi enim ad minim veniam, quis nostrud exerci tation ullamcorper suscipit lobortis nisl ut aliquip esto odio dignissim qui blandit praesent luptatum zzril delenit augue duis dolore te feugait nulla facilisi.

Lorem ipsum quis erant patrioque pri no, est ea veniam exerci accommodare. Mel iriure audire id, nam solet populo viderer ut, in pri nibh semper similique. Per an novum ludus, ex molestiae disputationi vim. Inani vidisse tamquam in quo, per an novum ludus, ex molestiae disputationi vim.



Luptatum

Amet zzril consetetur ea mea? Similique sadipscing comprehensam cum ea, pisci sententiae vix id! Vel occurreret.







